

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	保健福祉学部	人間福祉学科	専攻	保健福祉学専攻
職氏名	教授	間野 博		
専門分野	福祉住環境	居住地改善	都市計画	住宅政策

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	福祉住環境論 社会福祉現場実習巡回訪問指導	住宅政策論 卒業研究	福祉住環境論演習	フレッシュマンセミナー
(大学院)				
(2)教育関係 特記事項	進路指導部会委員(一般就職担当)のため、学科就職ガイダンスの他、個別の就職相談、就職活動相談。特に、公務員希望の学生については卒業生の紹介等含めてきめ細かく支援した。			

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	居住政策の観点から見た町並み保存地区の課題(間野、都市計画学会中国四国支部都市計画研究講演集3, 6p)	H17年5月
	密集住宅市街地の動向と住環境ビジョン - 大阪を中心として - (間野、日本建築学会大会 都市計画部門パネルディスカッション資料集、4p)	H19年9月
	基地に隣接するスプロール居住地における学生によるまちづくりフィールドワークの試み(間野、都市住宅学会中国四国支部研究活動報告会、7p)	H20年3月
	関西における密集住宅市街地「再生」の展望と「民間」の役割 - 大阪を中心として - (間野、日本不動産学誌第21巻第3号、7ページ)	H20年1月
(2)著書		
(3)学会発表等	広島都市圏における高度成長期に開発された郊外住宅団地の変容と居住者意識((社)日本建築学会2005年度大会、大阪)	H17年9月
	居住政策の観点から見た町並み保存地区の課題((社)日本都市計画学会中国四国支部研究発表会、広島)	H17年5月
	居住地の持続可能性からみた人口減少過程での都市空間発展モデルの検討(海道清信、科学研究補助金研究成果報告書)	H20年3月
(4)工業所有権等		
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	件
	科学研究費補助金(分担)	件
	その他外部資金	5件
(6)研究関係 特記事項	我が研究領域はフィールドワークが重要で、且つ、地域の空間の実態と住民の状況に身をおきながら、研究することが大事で、且つ、研究が地域に貢献し、地域の課題の解決に繋がることを目指している。研究している地区の住民とともに歩みながら研究を進めている。重点課題の居住地構造研究も次は、団地の再生に向けての住民の挑戦に関わっていくつもりである。	

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	広島市市営住宅審議会委員長 岩国市市市民会議都市建設市民会議会長 大阪市密集住宅市街地整備推進戦略策定委員会委員長 広島市障害者施策推進協議会会長 広島市住まいづくりビジョン検討委員会委員長 広島市ヤード跡地(新球場隣接地)集客施設等整備事業予定者選考委員会委員長	H9.5～H20.5 H18.10～H22.9 H19.9～H20.3 H17.2～H22.1 H18.6～H20.3 H19.9～H20.3
(2)公開講座等	第3回地方シンクタンク・ワークショップ 地方都市における郊外戸建て住宅団地の再生-地方都市・広島市における現状と課題、3/14 都市再生機構密集市街地再生戦略会議(第5回) 「共同建替え」の位置づけと展開の考え方、1月7日 三原シティカレッジ 「まちづくりと福祉」、11月9日、「まちのバリアフリー」、11月30日	
(3)地域貢献 特記事項	大学の基本的役割としての地域貢献はもちろんだが、我が専門領域は地域の現状と密着しており、且つ行政に関ることが多いので、行政の委員会や審議会に参加することは、専門性を生かして行政、市民に貢献すると同時に、施策の実態や行政課題の把握をはじめ、研究にも役立つと考えて、積極的に引き受けることとしている。	

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等	地域連携センター三原キャンパス運営委員会	進路指導専門委員会
(2)大学運営 特記事項		

以上は、主要な活動について掲載しています。